

サウンディング結果の概要

対話の対象項目	対話概要
運営のコンセプト	・川辺の魅力向上と健幸都市の拠点となる施設 ・県内のプロスポーツチームとの連携したイベントの開催 ・賑わいやイベントの場は長期的なスパンで育てるものが望ましい ・通常時は公園施設（ハード）で集客することで休日の集客に繋がる。 ・「UEDA River Side Wellness Park」
地域貢献に対する考え方、提案等	・地域のイベント、お祭りを公園内にて実施することで地元との融和を図る。 ・地産地消を目的としたマルシェの開催 ・地元人材の積極的活用による地域経済の活性 ・市内観光スポットの情報発信 ・市民主体のイベント時の運営補助（民間業者による支援）
行政に求める支援や配慮して欲しい点	・Park-PFI、指定管理者制度の採用 ・公園内へ施設を設けて市民利用を想定する際は利用料金制度での運用を希望
その他自由提案・意見	・現状の公園施設のみでは、収益性が低く、指定管理者として管理を行うとしても、サービス面への投資が困難。公園環境のある程度の維持管理のみの対応が限度となる。 「施設職員が常設できる施設（サービスの提供者）」＋「収益性が高い施設（サービス投資にかかる費用捻出）」を建設することで解決できる見込みあり。
	・エリアが狭く、駐車台数の確保についても課題があり、難しいと予想。イベント開催においては、500人以上の来訪が見込める内容とする必要がある。 ・イベントの規模を大きくするためには、グラウンドのスペースも一体利用したいと考えたいと思う。そうすると駐車場として利用できる敷地が狭い。
	・公園オープンから数年は目新しさからイベント開催が見込めるが、その後の利用を継続するためには、定期的なイベント開催を続けて、かわまち公園が「いつ行ってもイベント開催している楽しい場所」といったイメージ作りが重要。
	・施設に不足がある場合はリースによる補充も可能である。
	・公園内にトレーラーハウス等の可搬式建物を設置し、建物を地元飲食店等の営業店舗として賃貸することで自社利益を得て、市へは借地料を支払う運営方法を検討してほしい。